

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)社会福祉法人 天気会「ながつ」	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市長田一丁目1312番	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2017年1月13日
敷地面積	1,744 m ²	作成者	書胤建築設計事務所 畑中 裕昭
建築面積	987 m ²	確認日	2017年1月13日
延床面積	2,229 m ²	確認者	書胤建築設計事務所 畑中 裕昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	2.8
温熱環境	2.7
光・視環境	3.4
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	2.9
耐用性	3.1
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高齢者使用施設として、特にバリアフリー対応に配慮する。時間・季節の移り変わりが感じられる施設とするため、各所において外部・外気とのふれあい箇所を積極的に演出する。		
Q1 室内環境 屋光率を高めに設定し光・視環境に配慮している。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど、維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。高効率空調機、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0133

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)社会福祉法人 天気会「ながた尚老苑」建設計画					
		建設地	大阪府東大阪市長田一丁目1312番2、1312番36、1312番37、1312番38、1312番39					
		用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	4.0	3		
				住戸・宿泊	4.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						2.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		高齢者使用施設として、特にバリアフリー対応に配慮する。時間・季節の移り変わりが感じられる施設とするため、各所において外部・外気とのふれあい箇所を積極的に演出する。						